

## PRESTO™ A80t

### 20 l のリアクターの加熱 -40°C ~ +20 °C

#### 目的

このケーススタディは、20リットルのガラス製反応器を使用し PRESTO™ A80tの加熱テストします。PRESTO™ A80tは、1 mのメタルチューブを2本使用し反応器に接続しています。PRESTO™ A80tは、-40°Cから+20°Cに加熱するようにプログラムされています。

#### 周囲環境

周囲温度	+20 °C
湿度	45%
電源電圧	208 V / 60 Hz

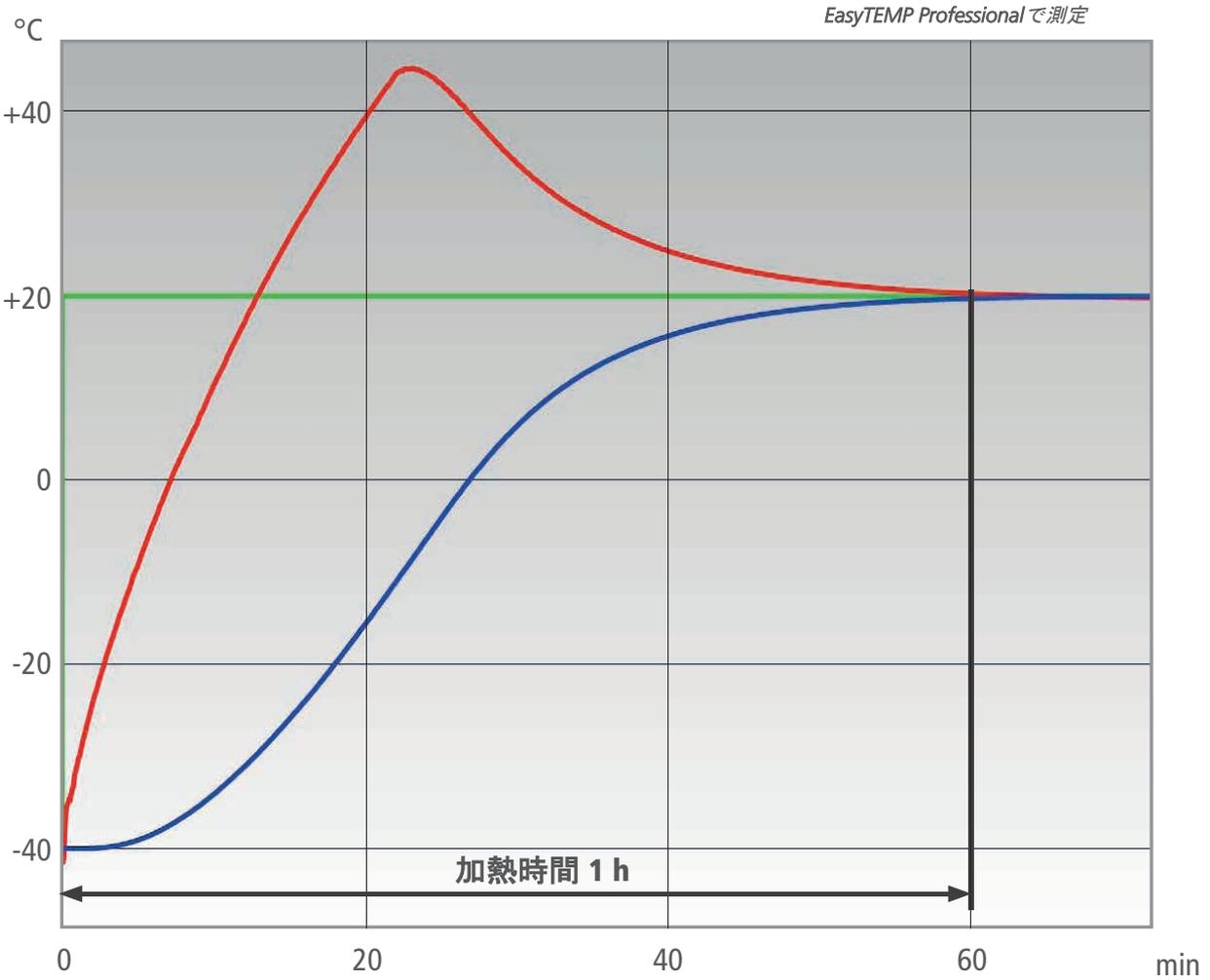
#### 試験条件

JULABO装置	PRESTO™ A80t
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW +20 °C 1.1 kW
加熱能力	3.4 kW
帯域制限	with
流動圧力	0.5 bar
槽液	Thermal HL80
リアクター	20 l ガラスリアクター (Asahi) 充填量 19 l Thermal HL80
ジャケット容量	7 l
制御方法	External (ICC)



## 試験結果

PRESTO™ A80t はオーバーシュートなしで-40°Cから+20°Cまで1時間で加熱しました。



- 設定温度
- リアクター内温度
- リアクタージャケット温度

### Tip

弊社は幅広いアクセサリを持っています。M+Rアダプターを使用すると、追加の温度を表示および記録できます。



### Tip

無料のEasyTEMPソフトウェアを使用して、PCで装置を制御や、温度曲線をグラフ表示ができます。

**EasyTEMP**

